

学校運営協議会(第2回) 議事録

校名	府立河南高等学校
校長名	仲谷 浩

開催日時	令和6年12月13日(金) 15:00～16:30
開催場所	府立河南高等学校 2階 校長室
出席者(委員)	吉川 測雄、島 善信、山根眞一、森本崇寛、岸本好江
出席者(学校)	仲谷浩校長、山田正晴教頭、竹本眞也事務長、竹田央首席、後藤隆志、永田瑞穂、田中俊一、内本泰輔
傍聴者	なし
協議資料	授業アンケート結果、教科書選定の経緯、広報関係活動報告、学校教育自己診断等
備考	

議題等(次第順)

- ①授業アンケート結果
- ②教科書選定の経緯
- ③広報関係活動報告
- ④学校教育自己診断等
- ⑤授業力向上チームより活動報告
- ⑥進路状況～中間報告
- ⑦今年度の学校行事を終えて

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 授業アンケートの結果については、1回目が平均3.41、2回目が平均3.45で上昇傾向が続いている。
- 学校教育自己診断に関して、質問項目を変更したクラスルームについてどういった活用をしているのか。
・教科、担任、学年からの連絡を使用するツールにしている。課題等の提出もほとんどの教科で活用している。
- 授業力向上PTに関して、専門性が出る高校での授業見学は難しいのではないかと。どのような工夫をされているのか。
・教科横断にし、テーマを決めて取り組んだ。参加者も第1回目は78%、2回目は90%と向上している。
- 進路状況に関して、学力低下の危機感についてどう感じているか。
・3観点評価の導入により、考査の成績への受け止め方が変化してきた。考査の点数が低くても危機感をあまり覚えていない、それによって学力が向上しにくいのではと感じている。部活動、その他さまざまなことに時間を取られている生徒にとって授業は大切。授業力向上PTの取り組みでもあるように、授業を大切に、授業時間で向上させていく意識を学校全体でもっていきたい。
- 指定校は3割弱の生徒が指定校推薦を選択しているとのことだが、もっと上をめざせる生徒はいないのか。
・指定校推薦を選択する生徒の中により難易度の高い大学にチャレンジできる可能性のある生徒はいる。生徒・保護者も含めて早く進路を決めたいという意識が強く、その選択になる生徒が多い。
- 学校行事に関して、キャッシュレス決済でAuPAYを導入したが、なぜAuPAYであったのか。
・様々なキャッシュレス決済がある中で、AuPAYは学校の文化祭の導入に積極的であったため。今後もAuPAYを続けていくのかは検討していきたい。

次回の会議日程

日時	令和7年3月25日(火) 15:00～
会場	本館2階 校長室